

帯広市

公有財産の現況について

(平成31年3月31日現在)

1. 市が保有する財産の状況（公有財産台帳登録分）

平成30年度末現在、市が保有する財産(※1)の土地の面積は4,532万7,009.83㎡、建物の延床面積は73万8,271.31㎡となっており、土地と建物の評価額(※2)は約1,530億円となります。

このうち、行政サービスを行うことを目的に保有する『行政財産(※3)』(土地・建物)の評価額は約1,497億円、市が保有する財産の評価額(約1,695億円)の88.3%を占めています。

また、特定の行政目的のために直接供されるものではなく、貸付や処分によって経済的価値を発揮することを目的に保有する『普通財産』の評価額は約32億円となっています。

※1 ここでは、市が保有する財産のうち、道路や公営企業の施設を除いた帯広市公有財産台帳に登録されている財産について記載しています。

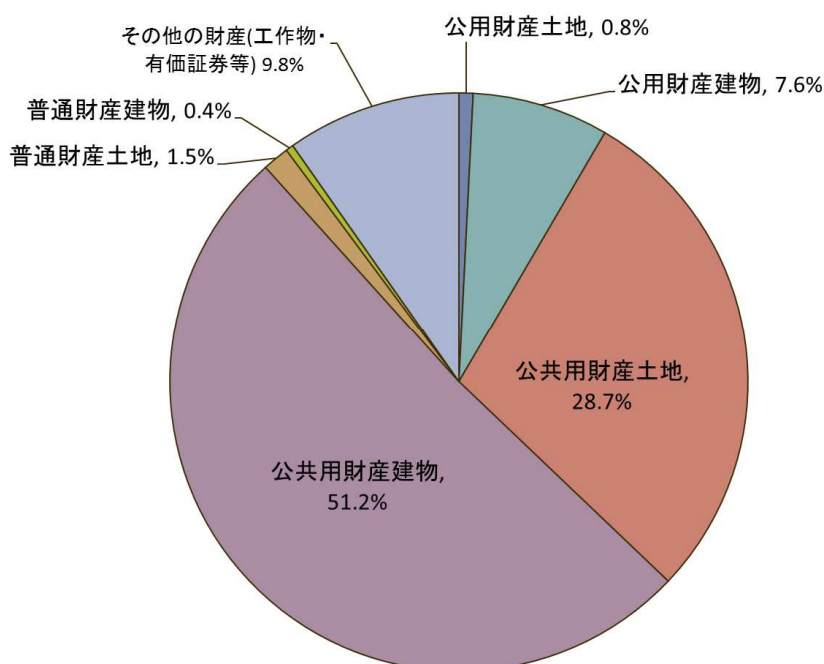
※2 評価額・・・帯広市では土地については固定資産評価基準に準じて評定した価格を、建物については再建築価格に残存率を乗じて算出した価格を公有財産台帳登録価格(＝評価額)としています。

※3 行政財産・・・庁舎、消防施設など帯広市が事務又は事業を執行するために直接使用する公用財産、及び学校、市営住宅、公園など住民が共同使用する公共用財産に分けられます。

表1 市が保有する財産の状況

区 分		筆数/棟数	面積(㎡)	評価額(千円)	評価額比率	
行政財産 (行政サービスを行うことを目的とした財産)	公用財産 (市役所、消防署等)	土地	167	390,049.90	1,337,296	0.8%
		建物	119	65,086.32	12,955,511	7.6%
	公共用財産 (学校、公営住宅、公園、コミセン等)	土地	2,848	34,085,170.23	48,610,735	28.7%
		建物	1,036	663,882.59	86,838,434	51.2%
行政財産計				149,741,976	88.3%	
普通財産(市有林、教職員住宅等)	土地	466	10,851,789.70	2,520,335	1.5%	
	建物	77	9,302.40	722,624	0.4%	
普通財産計				3,242,959	1.9%	
工作物				3,684,349	2.2%	
物権				0	0.0%	
有価証券 (株券)				217,837	0.1%	
出資による権利 (財団等への出資による権利)				12,628,070	7.5%	
財産合計				169,515,191	100.0%	

図1 各財産の評価額の割合



2. 市が保有する財産(土地・建物)の内訳

○用途別の内訳

市が保有する財産(道路、公営企業施設を除く)のうち、土地と建物の面積は、土地が 4,532 万 7,009.83 m²、建物が 73 万 8,271.31 m²となっています。

表2 市が保有する財産(土地・建物)の内訳

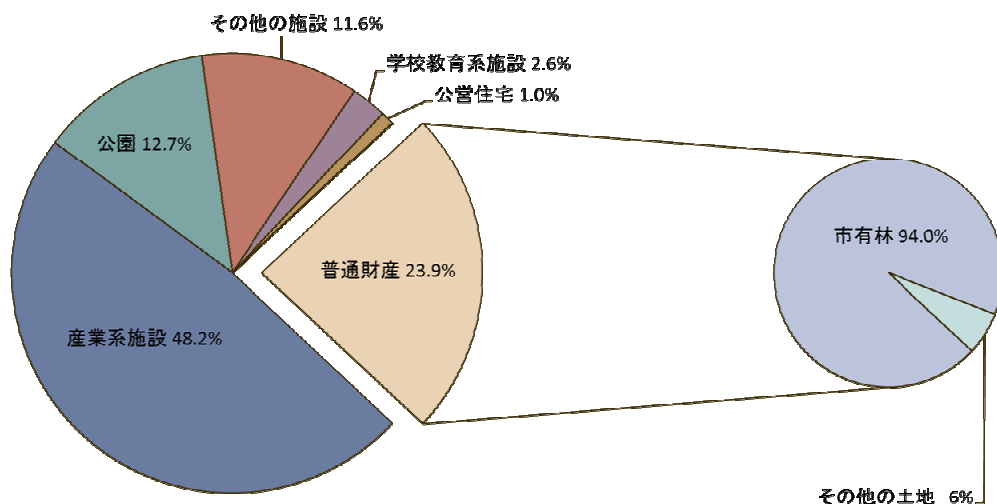
施設区分	大分類	土地		建物	
		面積(m ²)	割合(%)	延床面積(m ²)	割合(%)
行政財産	地域コミュニティ施設	156,870.34	0.4	29,859.54	4.0
	市民文化・社会教育系施設	19,752.46	0.1	42,998.79	5.8
	スポーツ・レクリエーション系施設	1,456,177.91	3.2	62,354.32	8.5
	産業系施設	21,833,882.35	48.2	20,677.54	2.8
	学校教育系施設	1,186,070.83	2.6	265,317.46	35.9
	子育て支援施設	55,004.16	0.1	15,092.13	2.0
	保健・福祉・医療施設	26,120.87	0.1	12,781.07	1.8
	公営住宅	443,724.56	1.0	224,951.44	30.5
	行政系施設	150,952.54	0.3	41,513.55	5.6
	その他	3,380,604.16	7.4	8,528.22	1.2
	公園	5,744,709.65	12.7	2,265.39	0.3
	簡易水道	20,358.30	0.0	2,472.84	0.3
	農村下水道	992.00	0.0	156.62	0.0
	小計	34,475,220.13	76.1	728,968.91	98.7
普通財産	普通財産	10,851,789.70	23.9	9,302.40	1.3
	小計	10,851,789.70	23.9	9,302.40	1.3
計		45,327,009.83	100.0	738,271.31	100.0

(1) 土地

本市が保有する土地4,532万7,009.83m²のうち、行政財産は3,447万5,220.13m²で、全体に占める割合は76.1%となっています。行政財産の内訳をみると、全体に占める割合は産業系施設が48.2%、公園が12.7%、学校教育系が2.6%、公営住宅が1.0%となっています。

一方、普通財産は1,085万1,789.70m²で、全体に占める割合は23.9%となっており、そのうち、市有林が1,019万7,288.00m²で、普通財産の94.0%を占めています。

図2 保有土地の使用面積の割合



(2) 建物

本市が保有する建物の延床面積 73 万 8,271.31 m²のうち、行政財産は 72 万 8,968.91 m²で、全体に占める割合は 98.7%となっています。

行政財産の用途別の延床面積の割合をみると、学校教育系施設が 35.9%と最も多く、次いで公営住宅が 30.5%、スポーツ・レクリエーション系施設が 8.5%となっています。

一方、普通財産の延床面積は 9,302.40 m²で、全体に占める割合は約 1.3%となっており、市民活動プラザ六中や教職員住宅などが主なものとなっています。

図3 保有建物の使用面積の割合

